

志賀原子力発電所

固体廃棄物貯蔵庫のドラム缶における析出物確認について

2023年10月12日（木）、固体廃棄物貯蔵庫に保管中の低レベル放射性廃棄物を収納したドラム缶の定期点検を実施していたところ、ドラム缶1本の側面（外側）に当該ドラム缶から漏えいしたと思われる析出物※¹があることを確認しました。

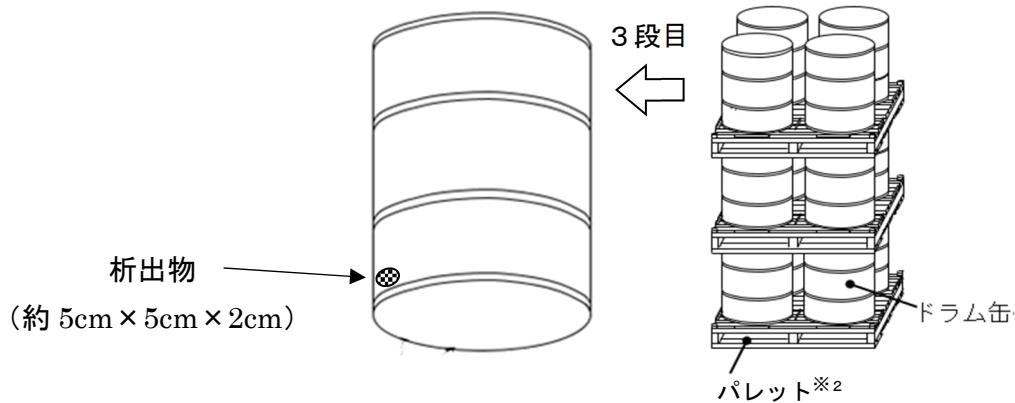
析出物、ドラム缶のパレット※²等から放射能は検出されませんでした。

調査の結果、ドラム缶内の廃棄物袋に収納された廃棄物内の液体が漏れ出したことにより、ドラム缶を内面から腐食、貫通させ、外面に析出したものと推定しました。

ドラム缶の内容物は、新たな廃棄物袋に再収納し、ポリエチレン内装ドラム缶※³に詰め替えました。

今後、同様の原因により析出物が発生する可能性があるドラム缶について、順次外観点検を実施していきます。また、新たに発生する廃棄物について、液体が含まれているものを厳格に分別し、ポリエチレン内装ドラム缶に収納していきます。

なお、外部への放射能による影響はありません。



ドラム缶の保管状況イメージ図

- ※1 析出物：液体に溶けていた物質が結晶化したもの
- ※2 パレット：ドラム缶の運搬・貯蔵に用いる金属製の台
- ※3 ポリエチレン内装ドラム缶：耐薬品性に優れたポリエチレンの容器が内装されているドラム缶であり、液体を含む廃棄物を収納している